

青谷かみじち遺跡

NEWS

Vol. **2**

2016 Autumn

発行：鳥取県埋蔵文化財センター
青谷調査室

〒 689-0952
鳥取市青谷町青谷 667
鳥取市青谷町総合支所 2F
電話 0857-85-5011



出土した銅鏃を観察（青谷小学校 5 年生）

発掘調査を見学できます！お気軽にお声かけ
ください（平日のみ・雨天中止・11 月末まで）

発掘調査公開中！

青谷上寺地遺跡の整備に向けて いよいよ検討がスタート！



青谷上寺地遺跡の調査を視察する委員

とっとり弥生の王国 調査整備活用委員会 を開催 しました

10 月 13 日（木）、第 1 回とっとり弥生の王国調査整備活用委員会を開催しました。この委員会では、鳥取県が誇る青谷上寺地遺跡と妻木晩田遺跡の調査・研究、そして整備・活用について、いろいろな検討を行います。青谷上寺地遺跡の整備や活用については「人の五感にうったえかけるような整備を目指してほしい」など、たくさんの貴重なアドバイスをいただきました。これから本格的に青谷上寺地遺跡の楽しみ方を探っていく予定です。

あおや発掘通信

八月に遺跡の中心部分の発掘調査をはじめから三ヶ月。ただいま古代の地層を調査中です。古代に造成された地面にもかかわらず、足の踏み場もないほどの弥生土器が出土しています。いったいこの下にある弥生時代の地層には何が眠っているのか。今からドキドキします。

さて今私たちが注目しているのは、たくさんの土器に混じって出土する弥生時代の銅鏃（どうぞく）です。弓矢の先に取り付けられていたもので、青谷上寺地遺跡では銅鏃が突き刺さった人の腰骨もみつかっています。銅鏃は弥生時代の争いごとに使われる武器だったのです。

青谷上寺地遺跡からは過去十八年間の調査で三十七点もの銅鏃が出土しています。その数は全国屈指。ただし当時の日本ではまだ素材となる銅の生産は行われていませんでした。中国や朝鮮半島から運ばれてくる銅はたいへん貴重な素材であり、たくさんの銅を入手することができるとは、限られていました。

今年の発掘調査では既に七点の銅鏃が出土しています。過去のものと同様に合計で四四点。興味深いのは、今年の調査区から全体の二割におよぶ銅鏃が出土していること。そして、それぞれが違

なんと！銅鏃（どうぞく） がゾクゾクと出土中



いろいろな形をした銅鏃。「あかがね」色の輝きをとどめたもの（写真中央の銅鏃）。

た形をしていることも見逃せません。

今回の発掘調査では弥生時代の人びとが遺跡の中心部で何を行っていたのかを明らかにしたいと考えています。さまざまな形をした銅鏃がたくさんみつかることは、この問題を解決するためのヒントなのかもしれません。この付近に銅鏃を製作する工房があったのか。いや各地から持ち込まれた銅鏃が集められていたのか。どんどん想像が膨らんでいきます。

十一月十二日（土）午後一時半から現地説明会を行います。皆さまのお越しをお待ちしています。